

# 特定医療法人群馬会

所在地：高崎市稲荷台町136番地  
労働者数：525名（女性321名、男性204名）  
事業内容：精神科急性期治療病棟等の運営  
代表者：理事長 村山 昌暢



## 子育て支援で職員の定着を目指す

以前から働きやすい職場づくりを目指しておりましたが、次世代育成支援対策推進法の施行に伴い、子育て支援をすることは、特に女性の職員に対して働きやすい職場環境を提供できると考え、育児休業取得推進、事業所内託児施設の設置・運営の充実、子の看護休暇、育児短時間勤務制度などの周知を行ってまいりました。

病院・介護施設は女性職員が多いことから、子育て支援が職員の定着において大変重要であると思います。

村山理事長



## 事業所内託児施設は2か所運営

平成5年に群馬病院内託児施設（くるみ来未保育園）を設置。その後も子育て支援に積極的に取り組み、平成18年には赤城高原ホスピタル・赤城苑内託児施設（つばくろ保育園）を設置し、子育てしながら、安心して働くことができる環境整備を進めています。

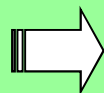
来未保育園は、平成20年から日曜日を含めて全日開所となり、子育て世代の戦力化に繋がっています。また、女性職員のみならず、男性職員の奥様が2人目・3人目などの出産前後にお子様をお預けになる等、男女問わず利用していただいております。

事業所内託児施設



### 子育て支援の効果

・託児施設の運営  
・育児休業の推進  
・年次有給休暇の取得促進



出産や子育てによる離職者が減少し、職員の定着に繋がった。

男女問わず、子育て世代の求人応募者が増加し、職員の確保に繋がった。

## 群馬会の概要を紹介します。

- ・**群馬病院**(精神科・心療内科)、**赤城高原ホスピタル**(アルコール依存症・薬物依存症専門病院)、**赤城苑**(介護老人保健施設)を中心に、宿泊型の生活訓練施設や、グループホームなどを運営しています。
- ・**高い専門性と多職種**によるチーム医療・チーム介護が特色です。バランスのとれた医療・介護を目指しています。

### 育児休業からの円滑な復帰に向けた支援

育児休業取得者に対しては、代替要員の採用、他スタッフの業務分担で対応しています。復帰の為に決められた研修は実施していませんが、定期的に休業者と連絡を取り、病院・介護施設の情報提供を行っております。

復帰に当たり不安等がある場合は、勤務形態の変更等、相談しながら対応しております。



### 「イクメン」を増やすための取組み

男性も育児休業を取得できること、是非取得してほしいという法人のメッセージを、職員配布用のリーフレットに明記し、育児休業給付の案内も添えて周知。その結果、男性職員育児休業取得者第一号の板倉さんは約2か月休業しました。

(育児休業を取得した、板倉康広さんのコメント)

二人目の時に、妻は産休、私は育休と分担して休みをいただきました。日々変わっていく子どものちょっとした成長に気づくことができたり、子どもを抱えての家事・買い物など今まで妻がしていたことの大変さを身をもって学ぶことができたり、家族と向き合っ、自分がどう生活したいのかを考える機会となったり、妻とも分かり合える部分が多くなったと思います。子育ての体験は復職後も様々なところで仕事に良い影響を与えたと実感しています。

育児休業はとても貴重な時間となりました。皆様のご協力のもと、育児休業をいただけたことに深く感謝しています。

育児休業を取得した板倉さん



### 育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…平成20年4月～平成23年3月までの間で、男性が1名、女性が5名取得(女性の取得率は100%)。原則として子が1歳に達するまで、特別な事情があれば1歳6か月まで、取得可能。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が3歳に達するまで利用可能。女性3名が利用(平成25年12月までの実績)。
- ・**子の看護休暇**…子が小学校に入学するまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は年10日間取得可能。述べ取得日数は、平成21～24年度で14.5日(取得者は女性のみ)。
- ・**事業所内保育施設**…子が小学校に入学するまで利用可能で、土日も運営。登録者は19名で、平成25年11月の延べ利用日数は113日。
- ・**介護休業及び介護短時間勤務**…要介護状態の家族介護のため、通算93日間利用可能。平成25年度の利用者は女性2名。

# 群馬会は、働き方の見直しを進めています。

## 年次有給休暇の取得促進

- ・取得率は、例年 60%前後を推移。定期的に行う衛生委員会で、部署・職員ごとの取得率を情報共有し、取得率が低い職員に対しては、積極的に取得するよう所属長を通じて周知徹底しています。
- ・どこの事業所、部署でも平均的に年次有給休暇を取得できるよう、取得率が低い部署については、業務配分の見直しや、職員の増員を検討する等の対策を行っています。

## 女性も活躍しやすい職場づくり

女性の育児休業取得率は 100%、男性もこれまで 2 名、育児休業を取得しています。女性については、託児所を利用しながら、復帰後も変わらず勤務し、2 人目、3 人目を出産した職員も多くいます。また、育児短時間勤務の利用、子の看護休暇の利用、担当部署の変更等により、子育てと仕事を両立して働いており、副師長として活躍する女性もいます。



## くるみんマークを人材確保に活用

当法人ではくるみんマークをホームページ、病院・施設内に掲示しております。ホームページにくるみんマークを掲載して以来、求人アクセスもホームページからの比率が多くなっております。

今後も男女問わず育児休業取得を推進していきます。年次有給休暇取得率も 60%以上が保てるよう、より一層働きやすい職場づくりを目指していきます。

くるみんマークの活用



### 医療業界への就職・転職・再就職を考えている方へのメッセージ

当法人では、育児休業取得などを推進するとともに、子育てしながら働き続けられる職場環境を充実したいと考えております。現在、子育てと仕事を両立できるようワークライフバランスを考え、多様な勤務のあり方を検討しております。医療・介護業界への就職をお考えの方、ぜひ一緒に働いてみませんか！  
(経営管理本部 推進役 齋藤一弘)